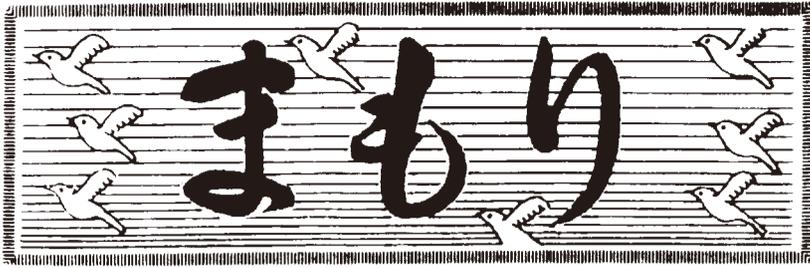


国土の繁栄と平和をまもろう

本会は自衛隊員の激励及び慰問、退職隊員の就職協力等を行うと共に自衛隊の諸行事に協力し隊員との親睦を図り、防衛思想の普及並びに隊員の健全な育成発展に協力するを目的とする。



第223号

令和5年7月1日

発行所 大阪防衛協会 (〒541-0041) 大阪市中央区北浜3丁目5番19号 淀屋橋ホワイトビル701号 TEL.06-6202-8284 E-mail:ek@ace.odn.ne.jp 発行人 井上礼康 編集責任者 井上礼康 印刷所 (株)DNPメディアサポート

令和五年度会員総会終わる

大阪防衛協会は令和五年度会員総会を六月十三日、自衛隊から中部方面総監堀井陸将、呉地方総監伊藤海将、第三師団長佐藤陸将以下18名、会員約180名のご参加を得て大阪のホテルで盛大に実施した。第1部議案審議、第2部総会行事のあと、第3部講演会ではジャーナリスト井上和彦氏の「ウクライナ戦争のゆくえと日本の安全保障について」と題して熱弁を振るい、盛会の裡に終えた。

会長挨拶文

この度、大阪防衛協会令和五年度会員総会を迎えるに当たり一言ご挨拶申し上げます。本日は、大変お忙しい中、堀井中部方面総監・佐藤第三師団長、伊藤呉地方総監、石上航空自衛隊幹部候補生学校長、茂籠近畿中部防衛局長を始め、現職の陸・海・空自衛官皆様並びに会員の皆様にご出席を頂きまして誠に有難うございました。

まず、大阪防衛協会の歴史を簡単に申し上げますと、昭和38年1月、今から60年前、北陸地方が大豪雪に見舞われ、交通が途絶し、福井・新潟地方が孤立したとき、関西からも自衛隊が出動し、約一ヶ月にわたって献身的な活動をされました。しかし当時、世の中は未だ自衛隊に冷たく、労働の言葉もなかった時代でしたので、関西財界の有志が自衛隊に対する感謝の気持ちを表すと同時に激励し、さらに自衛隊に対する国民の

理解を深めようという趣旨で、昭和39年2月24日に当協会が発足し、長きにわたる諸先輩や現在の会員一人一人の熱い思いが営々と引き継がれ、本年59年目を迎えることができました。さて世界の情勢につきましては皆さんご承知の通り、昨年2月24日にロシアがウクライナ侵攻を開始して現在も激しい戦闘状態が続いておりますが、我が国周辺におきましても北朝鮮が近年特に頻りに弾道ミサイルの発射を繰り返す、また中国は益々軍備を拡大するとともに、尖閣諸島に対する領海侵犯を繰り返す等、「戦後最大の危機」と言っても過言ではない状態です。このような厳しい安全保障環境の中で、国民の自衛隊に対する信頼と期待は一段と高まっています。昨年、安全保障関連3文書が改定され、防衛費はGDP2%までの増額や、反撃能力の保有も決まりました。これから憲法の見直し議論を本格的に行い、自衛隊が十分に力を発揮できる法体制を整備し、人員と装備が充実されると同時に、国民が「自

井上会長ごあいさつ



分の国は自分で守る」という覚悟を持つことにより、我が国の防衛力をさらに高める必要があると考えます。本年創立59周年を迎えるに当たり、本協会の目的であります「自衛隊に対する激励・支援」「国民の防衛意識の高揚」が益々重要であると再認識し、「自らの国は自ら守る」という自衛の精神を一層国民に根付かせるべく啓蒙活動に力を入れて参りたいと存じます。最後になりましたが、陸・海・空自衛隊の皆様はより一層厳しい任務を果たさねばならないと思いますが、国民の負託にこたえられるよう一層のご精進・ご活躍を心からお願ひ申し上げます。 令和5年6月13日 大阪防衛協会会長 井上礼之

「自衛隊の皆さま、国のまもりを有難う！」 記念講演「ウクライナ戦争のゆくえと日本の安全保障」 ジャーナリスト 井上和彦氏 講演 ロシア軍によるウクライナへの侵攻は1年4カ月を迎えるが、2014年クリミア半島占領から始まっていた。ウクライナと日本は隣の隣、さらに今日のウクライナ侵略は明日の中国の台湾侵攻へとつながる。日本の近現代史は明治維新後、日露戦争、第1次世界大戦、太平洋戦争を経て人種差別撤廃、アジアの解放に向けて貫徹していった先人たちの勤勉・誠実な姿勢と立ち居振る舞いを今掘り起こし、そして優秀な自衛隊員を育てることが最大の抑止力となる。我々後方と広報しつかり受け持ちます。 防衛協会の皆さんは募集に協力いただいでしつかり支えて下さい。心から武運長久を祈っています。自衛隊の皆さん国のみまもりをありがとう。(関連記事3面以降)

主な記事

- 令和五年度会員総会の概要 (2)
○ 全国防衛協会連合会要望書 (2)
○ 特別寄稿「日本とポーランドの絆」(井上和彦) (3)
○ 連載エッセイ「夕暮れの街」(梅谷忠洋) (4)
○ 女心の防衛論「内線」(憂国論) (堀江珠喜) (3)
○ 総会風景、行事メモ事務局より等 (4)

防衛大臣祝電

「大阪防衛協会55周年会員総会のご盛会を祝し、心からお祝い申し上げます。大阪防衛協会の皆様には、防衛防災フェスティバルの主催をはじめとした防衛思想の普及高揚における御努力に対し、深く敬意を表するとともに、隊員の激励慰問など防衛省・自衛隊に対する多大なご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。令和という新しい時代を迎え、防衛省・自衛隊も安全保障環境の変化に適応し、自らを変革していかねばなりません。会員の皆様方には防衛省・自衛隊の新たな取組みを温かく見守り、また支えていただき、ますますようお願い申し上げます。最後に、大阪防衛協会の益々の御発展と会員の皆様の御活躍を心より祈念、お祝いの言葉とさせていただきます。」 防衛大臣 浜田靖一

新入会員

令和5年4月〜6月 ( )は推薦者名

- ▽特別会員 (3社)
☆富国生命保険(相)
江口 修(内田栄寿)
☆千里丘タクシー(株)
辻井正房(賛助から)
☆ライディック(株)
喜多恭子(倉秀人)
▽賛助会員 (3名)
大西孝子(大西宏幸)
矢久間進(普通会員から)
衛藤吉明(蛭原康治)
▽普通会員 (6名)
盛林文男(高橋憲一朗)
内田栄寿(村上芳幸)
清水貞夫(蛭原康治)
松村信人(天狗佑太呂)
土原陸男(土原成貴)
(以上松尾洋一郎)

楯滴

自衛力の存在意義 去る6月14日令和五年度会員総会が終了翌日、岐阜市の陸自日野基本射撃場で自衛官候補生が小銃を発射し、指導していた2人の隊員が死亡したニュースが飛び込んだ。 さらに19日には4月に沖縄宮古島付近で陸自ヘリが墜落し、第8師団長以下10名が殉職され、その葬送式が行われた。 心から御冥福を お祈り申し上げます。 改めて自衛力(自衛隊)の存在意義は、国家・国民の団結、自主防衛の決意を表明するものであり、国家としてのアイデンティティを主張する。 その性格は平時において先ず第1に諸外国に伍して生存するため自国が他の国々から信用されることが基盤である。 第2に外交の裏付けとなる。 しかし弱小国と強大な軍事力を持つ国とは世界の通用力が違う。 第3に相手国の攻撃意図発動を抑えざるに足る抑止力となりえる。 第4に日米安全保障体制(国防の基本方針)をはじめ、集団的安全保障体制の一員として参加し国防の任を全うできる。 すなわち自衛隊は日本国家・国民そのものであり、自衛力なくして一流国家たり得なく、自衛隊は常人では持てない兵器・隊員を国家から信託されていることを考え、自衛隊の最大の使命は敵の脅威を抑止する軍事力の保持と敵の攻撃を撃破する反撃能力を維持することであり、より高い誇りと使命感をもって本来の任務を全うされることを願う。(令和5年7月1日KE)



特別寄稿

「日本とポーランドとの絆」

ジャーナリスト 井上 和彦

講演の中で取り上げた一つのエピソードを中心に

令和元年(2019)は、日本とポーランドが国交を樹立して100周年であり、秋篠宮皇嗣同妃両殿下が6月末から同国をご訪問された。

●日露戦争の勝利とポーランドの独立

日本とポーランドの絆は日露戦争に遡る。

日露戦争が勃発するや、ロシア支配下にあったポーランド人はこれを独立の好機と捉え、日本の勝利を祈った。中には、マリア様やキリスト像の横に東郷平八郎提督の写真を飾り、日本の勝利を祝い独立を期待した者もいたという。

そんなとき二人のポーランド人が日本へやって来た。

一人は後に初代国家元首となるユゼフ・ピウスツキ。積極的協力を訴えたピウスツキは、「ポーランド軍団」を創設して日本軍と共にロシアと戦うことも提案したほか、ロシア軍の中のポーランド人兵士の投降や情報提供なども申し入れた。戦闘の重大局面におけるポーランド兵の離反は、ロシア軍にとって大きな痛手となったはずだ。

そしてもう一人は總健派のロマン・ドモフスキ。ドモフスキは、明石元二郎大佐の手引きで参謀本部の児玉源太郎参謀本部次長および福島安正第二部長の両将に面会してお

り、彼は、ロシア軍の中のポーランド人兵士に、日本軍への投降を呼びかける日本政府の声明文の作成にも携わった。

明石元二郎大佐は、ポーランドの武装蜂起を支援し、武器購入のための資金をポーランドへ提供するなどして、日露戦争の勝利と同時にポーランドの独立を助けたのである。こうしたことから、日露戦争の勝利は、日英同盟とポーランドの協力によるものだったと言われている。

1918年(天正7)11月、第一次世界大戦が終結してポーランドはロシアから独立。翌1919年3月22日、日本とポーランドの国交が正式に樹立した。

その後、日本兵の士気の高さや将校の有能さを高く評価していたピウスツキは、後に日露戦争で戦功を上げ

た51名の日本軍将校に勲章を授与し両国の絆を明らかにしている。

日本とポーランドのつながりはさらに深まる。日本は暗号技術をポーランドから学んだのだ。1923年にポーランド軍将校を招聘して以降、日本軍はポーランドに将校を留学させて暗号技術習得に努めたのだ。暗号技術を他国に教えるなど、よほど相手を信頼していなければできないことではなく、このことからポーランドは日本へ全幅の信頼を寄せていたといえよう。

1935年、ピウスツキが亡くなったとき、クラクフの隣には靖国神社の境内の土がまかれたというから両国の精神的つながりの強さがお分かりいただけるでしょう。その後の、敵味方に分かれた第二次世界大戦でも両国

は情報分野で繋がりが続け、欧州の情報網が密かにもたらされていたのだ。

そんな両国の知られざる友好の歴史は、ワルシャワ大学日本学部のエヴァ・パワシユ・ルトコフスカ教授の長年にわたる地道な研究によって広く知られるようになったことは実に喜ばしい。

●シベリア孤児救出とその後  
日波交流史の中でも特筆すべきは、「シベリア孤児救出」(1920-22)の物語である。第一次大戦下、ロシア革命が起こりシベリアに暮らしていたポーランド人にもその被害が及んだ。

政治犯として流刑されるなどして多くのポーランド人が暮らしていたのだ。彼らが独立を回復した祖国へ帰ろうにもロシア内戦によって帰国できず、生活は困窮を極め多数の餓死者を出す有り様だった。

進めておりますが、こうした装備の技術革新による省力化には限界があります。その上、ロシアのウクライナ侵攻によって国際情勢が大きく変わってきました。我が国の周囲を見渡しても、今後想定される台湾有事前哨戦とも思われる尖閣諸島をめぐる中華人民共和国の領海侵犯の脅威、朝鮮民主主義人民共和国のミサイル発射に見られる軍備増強、隣国韓国との微妙な関係など、東アジアをとりまく安全保障環境は戦後最悪というほどの波乱含みです。

さらに、地震や台風、豪雨など自然災害が多発且つ大型化して、「人海戦術」に頼らざるを得ない被害者の救助活動は増えています。被災後の行方不明者の捜索は対象エリアが広範化し、活動期間が長期化しているため、定数を減らすどころか、増やすことを考える必要があると思えるほどです。こんなタイミングでの出生数減少スピードの加速は致命的であり、我が国日本は極めて危うい!

涙にくれた。祖国に帰った子供たちは、「極東青年会」なる親睦団体を結成し、日本との友好親善のために活動し、彼らの中にはナチスに追われたユダヤ人を命がけで救う者もあらわれた。そしてポーランドが日本に恩返しするときがやってきた。平成7-8年、阪神淡路大震災の被災児童らをポーランドに招待してくれたのだ。

連載エッセイ

夕暮れの街 その100

新渡戸稲造・武士道(88)

M&Uスクール長 梅谷忠洋

(フルート奏者・「おもいで酒」作曲家)



●メンテナンス不備の危険  
な車が整備不良の道路を爆走する。

●どれだけAmazonでモノを買っても一つも家に届かない。

●全銀行のシステムがダウンして預金も引き出せなくなる。

現在、このような社会状況を予見する学者が出てきました。それも、この予測は、遠未来のことではなく、2030年というあと7年そこそこの我が国日本で起こるといいます。

その根本要因は、これから日本を襲うダブルの縮小が招く非常事態です。ダブルの縮小とは、新型コロナウィルスのパンデミックや、ロシアのウクライナ侵

攻などによって、各国経済が大きなダメージを受け、景気の波や社会経済を不安定にする出来事はしょっちゅう起こるので、気にしていつかキリが無いという言い訳の上に、こうした「間」が解決してくる。画期的な技術の登場によって助けられる。政府も支援策を考え、そして、「そのうち何とかなるだろう」的な考えの方も大勢いることでしょう。しかし、

人口減少

①人口減少

②人口減少

③人口減少

④人口減少

⑤人口減少

⑥人口減少

⑦人口減少

⑧人口減少

⑨人口減少

⑩人口減少

⑪人口減少

⑫人口減少

⑬人口減少

⑭人口減少

⑮人口減少

⑯人口減少

⑰人口減少

⑱人口減少

⑲人口減少

⑳人口減少

㉑人口減少

起こされたことではないのです。

人口減少がビジネスに与える影響は、マーケットの縮小や、人手不足です。

日本は、国内需要依存型企業が多いだけに、マーケット縮小は死活問題。しかしながら、こうした実態を知っているにもかかわらず、「誰かがやるだろう」的考えの下、どの業界でも大規模な事業計画が目白押しです。

そして、大局を見ずして、いまだに売上高の拡大のみを目指す経営者が少なくありません。このまま拡大路線を貫き、現状維持を模索してゆけば、必ずどこかで行き詰まることは必定。人口減少の影響を受けにくい組織や企業、個人は一切存在しません。

▼人材不足に目を向けよ  
人口減少がもたらす公務員への影響は、国民の「安全安心」を守る自衛官や警察官、海上保安官、消防士といった職種も襲います。「若い力」を必要とする職務

が多いだけにより影響は直接的です。

我等が自衛隊の場合、2021年度は定数24万7154人に対して、現在の人員は、23万754人で充足率93.4%です。防衛省の「22年版防衛白書」によれば、過去10年で一度も定数を充たしたことがありません。既に慢性的な人手不足に陥っているのです。

上官からの指示を受けて最前線で働く「士」と呼ばれる階級に至っては、充足率が79.8%といえますから深刻です。とりわけ、艦艇や潜水艦の乗組員、サイバー分野の人材が特に不足していると考えられます。

自衛隊は、冷戦終結に伴い、スリム化を図ってきました。近年は装備が高性能化して、情報通信技術の革新は少人数部隊による広域警戒を可能とし、部隊運用の即応力を高めました。先進各国では、少子化を睨んで、軍隊の小規模化や高機動化に向けた取り組みを

た。そこで在ウラジオストクのポーランド人組織が「せめて子供たちだけでも助けてほしい」と日本に救援を求めた。この要請を受けて日本政府はただちに動いた。日本赤十字とシベリア出兵で展開していた日本軍が協力して1920年から22年までに合わせて765名のポーランド人孤児を各地で救出し、陸軍輸送船でウラジオストクから敦賀に輸送した後、孤児らは東京と大阪で養護されたのだ。

また、2020年からは定年年齢の段階的な引き上げも進めております。定年退職後の再任用者は、これまで大半がデスクワークでしたが、これからは、部隊などでの活用も促進してゆくののだといえます。予備自衛官についても、「37歳未満」だった士長以下の採用上限年齢を「55歳未満」に変更し継続任用時の上限年齢は「61歳未満」から「62歳未満」などに見直しました。ですが、こうした努力も、少子化の前には、「焼け石に水」状態。しかも、「戦争」が今まで以上にリアルに感じられる時代となり、採用の上限年齢を引き上げたからといって応募者が増えるとは思えません。このまま少子化が進めば、「退職自衛官」中心の部隊が国防の最前線に立つことになりかねません。「60代の自衛官が、80代、90代の国民を守るに命を掛けて戦う」という未来図が想像されます。いやはや!

### 総会風景

6月13日、記念講演の後、協会役員有志と来賓自衛官と夕食会を行い、令和5年度大阪防衛協会会員総会はすべて終了した。



講演中の井上和彦氏



講演会の風景

(3面より続く)  
2018年11月20日、ワルシャワ近郊に、ポーランド人孤児救援に因んだ「シベリア孤児記念小学校」が誕生した。驚くべきことに、

その校旗には、ポーランド孤児の小さな手を温かく包み込む桜と「日の丸」が描かれている。そしてこの7月に同校を訪れたとき、隣接する幼稚園児らが「君が代」を大合唱して歓迎してくれたのである。それは、まさに100年前の出来事を彷彿させるものがあつた。一世紀前の出来事への感謝は色あせることなくいまも鮮やかに輝き続けている。いまでも、かつての孤児の子孫が、「日本が私の祖父を助けてくれたから、いまの私がいるのです。日本に感謝したい」と名乗り出てくれるのだ。心温まる交流の歴史と強い絆で結ばれたポーランド、世界屈指の親日国家であることを日本人はあまりにも知らなさすぎるのではないだろうか。

### 新着任幹部紹介

(令和4年12月)

☆航空自衛隊幹部候補生学校校長 兼奈良基地司令 空将補 石上 誠

☆藤永前学校長は空自補給本部第2所長へ

☆中方総監部幕僚長 陸将補 今村 武

☆酒井前幕僚長は第10師団長へ (以上令和4年12月)

☆第3師団長 陸 将 佐藤 真

☆荒井前師団長は防衛大学校副校長へ (令和5年3月)

☆大阪地方協力本部長 陸将補 深草貴信

※柳前本部長は勇退 (令和5年3月)

### 行事メモ

(令和5年7月~10月)

○たそがれコンサート (大阪城音楽堂 要予約)

・空自中部音楽隊 7月19日(水)

・海自舞鶴音楽隊 7月26日(水)

・陸自中方3師音楽隊

○合同就職説明会(青年部主催) ※1 7月22日(土)

・夏祭り関連

・桂駐屯地 8月3日(木)

・姫路駐屯地 8月5日(土)

・青野原駐屯地 8月8日(火)

・千僧駐屯地 8月8日(火)

・大久保駐屯地 8月8日(火)

・大津駐屯地 8月8日(火)

・信太山駐屯地 8月8日(火)

・福知山駐屯地 8月8日(火)

・和歌山駐屯地 8月8日(火)

・八尾駐屯地 8月8日(火)

・伊丹・川西駐屯地 8月24日(木)

・平城山納涼祭(奈良)

○今津駐屯地創立71周年記念行事 8月25日(金)

○大阪地方協力本部創立68周年記念行事 9月3日(日)

○第3師団追悼式 9月30日(土)

○中部方面隊創立63周年記念行事(伊丹) 10月8日(日)

○共通 陸自▽海自☆空自



### 会員増勢運動について

#### ご協力をお願い

大阪防衛協会は、昭和三十八年(1963)一月、北陸地方一帯を襲った豪雪に際し、自衛隊が出動し、その献身的な働きに感動した関西経済連合会を中心とする多くの財界人によって昭和三十九年二月松下山幸之助氏を初代会長として創設され、平成二十六年に五十周年を迎えました。

協会は創設以来、PKO・災害派遣隊員の激励慰問、入院患者見舞い、殉職隊員家族弔問慰霊祭協力、新入隊員激励、隊員募集協力等の支援活動を行う他、機関紙の発行、講演会・フォーラムの開催、音楽隊演奏会の支援、演習等視察見学、体験飛行、航海、青年部による防衛防災フェスティバルや婚活活動等を行ってまいりました。

さらにロシアのウクライナ侵攻により世界の安全保障情勢が激変している中、令和4年12月「安全保障3文書」が公表されました。

自衛隊は今後ますます厳しい環境と条件の中で本来の防衛任務

の他、PKO活動や災害派遣行動等取り組みねばなりません。当協会はさらに事業を拡大継続するとともに、「自分の国は自分で守る」という気概を示す手段が当協会の存在と考えます。

会員の皆様には会員の趣旨をご理解の上、さらに会員増勢にご協力をお願い申し上げます。

会長 井上礼之 (ダイキン工業(株)取締役会長)

年会費

・特別会員(法人) 一〇三万円

・賛助会員 一〇一万円

・普通会员 一〇三千元

・家族会員 一〇二千元

※ご入会希望の方、ご紹介下さる方は事務局までご連絡下さい。

〒五四一〇〇四一

大阪市中央区北浜三十一一九

淀屋橋ホワイトビル701号

大阪防衛協会事務局

電話・FAX〇六二二二八二八四

メール番号 [ek@ace.odn.ne.jp]

### 「国を守る気概」示そう!

合同就職説明会開催 ※1

あなた 国民を守る。

自衛官募集

合同就職説明会開催

参加費 無料

開催日時 令和5年7月22日(土) [第一日] 13:30~ [第二日] 13:30~

開催場所 大阪合同庁舎第4号館 1階(第一日) 大阪合同庁舎第4号館 1階(第二日)

対象者 大阪府下の高校に通う高校生

TEL.06-6942-0542

### 事務局だより

暑中お見舞い申し上げます

○令和5年度会員総会は6月13日、当協会の「自衛隊に対する激励支援」と「国民の防衛意識の高揚」の2大目的をさらに積極的に推進することを確認し、約200名のご参加により、盛大に開催することが出来ました。

ウクライナ侵攻から1年4カ月になりますが、解決の糸口さえ見えず、世界的平和への道のりは一層遠のいた感が致します。

○なお今年は4年ぶりに新型コロナウイルスウィルス禍から解放された日、自衛隊駐屯地等で夏祭りや記念日行事等が計画されており、最寄りの駐屯地等へお出かけいただき、自衛官に激励の声をかけていただければ幸いです。

○大阪防衛協会事務局 〒541-0004 大阪市中央区北浜三十一一九 淀屋橋ホワイトビル701号 TEL・FAX 06-6202-8288

### 女心の防衛論

### 「内線」憂国論



大阪府立大学名誉教授 堀江 珠喜

還付金詐欺男から固定電話に連絡。「市役所健康保険課のミタですが、〇〇(夫の名)さんおいでですか?」

これだけですぐ詐欺とわかったのは、

①平日だがランチタイム

②二年前の土曜日、つまり役所休日にかかっていた。

③夫は携帯番号を登録。月末だったので、「今日中に手続きしなきゃ!」心理を狙ったのだらう。

「健康保険課のミタ様ですね。下のお名前はなんとおっしゃるのですか?」「ケンジです」

「そちらの電話番号をお教えくださいませ」「XXXXX、

31の一一一五です」「ありがとうございます。で、ご利用は?」

「さっきからその態度はなんですか!失礼でしょ!」突然、詐欺師がキレた。

「お伝えくださることがあるから、お電話をいただいたのですよね。ですからご利用をお聞かせくださいませ」

「失礼だ!」一方的に電話を切られ、私は市内警察署生活安全課に連絡。

「お宅ですか。今日、ミタケンジの通報は三件めです。幾ら返すと言いました?」

「それが...」と事情を話すと大笑いされ、「後から警察を名乗って電話がかかるかもしれせんからご用心」と教えてくれた。シニアマダムた

ちに話すと、なんと三人に一人の割合で「還付」や「オレオレ」電話を受けていた。幸いに被害者はゼロ。

それにしても警察署各課に、なぜ直通電話がないのか? 「予算がもたないのです」と正直そうな生活安全課担当者。

そんなアホな! 貧乏な大阪府大ですら、今世紀初頭には各課、各研究室に直通電話があった。自治体・組織が異なるとはいえ、感覚が違いすぎる。

早速、県政相談室に電話。「県警予算は誰が決めるのですか? なぜ警察署には代表電話番号しかないのですか?」

「県議会が予算を認めますが、さあ誰が要求額を決めるのかしら? 内線電話の理由は前に聞いたけど忘れましょう」とか。伝書鳩以下の対応だ。

幼馴染の元ノンキャリア警官

にも電話。「警察は内線に決まってる。予算の問題やない。イタズラ電話防止とか、何かちゃんとした理由があるはずや」と終わり。怖い! と思った。

住民の安全を守る警察が「イタズラ電話」を恐れて直通電話をつけない? ウソだろ? それより怖いのは、実情を理解しようとして「理由があるはず」と、既存システム最優性を信じ込むメンタリティだ。県にカネがないなら関西万博への出費を削り、警察署にナンバーディスプレイ機能付き直通電話を設置して欲しい。万博は住民を守って

はくれない。

「僕、かなり所得税を取られるけど、自衛隊に使うならもっと納めてもいい」と頼もしいのが小学校の同級生で上場企業役員。

ふるさと納税同様、税金の用途が自分で決められたら!

と溜息をつく昨今である。